

JForest

森林組合だより

平成27年 9月1日

発行

第 105 号



由利本荘市指定
天然記念物

白山神社のスギ（船岡）

本荘由利森林組合

由利本荘市水林381

TEL 0184-24-4141(代) FAX 0184-24-4143

HP <http://www.honmori.com/> メール honmori@trad.ocn.ne.jp

連絡員会議

本年度の連絡員会議は7月2日(木)大内「メーブル」で連絡員132名、役員20名の他、森づくり推進課長並びに、各班長のご出席をいただき連絡員会議を開催しました。

会議では、日頃のご苦労とご協力に對してお礼を申し上げるとともに、引き続き組合員との重要な連絡役として務めてくださるようお願いしました。

また、組合より次の事項について報告しました。

- 一、指導・総務事業関係
- 二、林産販売・丸棒加工事業関係
- 三、造林事業関係
- 四、製材加工事業関係



その後質疑応答要旨は次の通りです。

Q、木質バイオマス発電の話がありました。組合員はどのような恩恵を受けることができるのか。

A、木の根から梢端まで一貫してお金になるような使い方が可能になるが、搬出経費等さまざまな検討課題がある。段階をふみながら取り組んでいきたいと考えている。

Q、鳥海と東由利はナラ枯れ等広葉樹の病害虫が蔓延しつつあるように感じられる。広葉樹はどのような利用法を考えているのか。

A、チップであれば杉よりも広葉樹の方が高い。なるべく虫のつかないうちに販売させていたいただきたい。

Q、西目の製材所の原木調達はどうしているのか。

A、当組合の林産事業の中で山から調達する様になっている。直材や曲り材等様々な原木が入ってくるが組合員の皆さんの木を付加価値をつけて少しでも高く販売できないか頑張っている。

労働安全衛生大会

7月10日(金)由利「善隣館」において森林組合技能員、職員他95名が参加して労働安全衛生大会を開催しました。

優良運転者の表彰の後、本荘労働基準監督署の山谷氏より「木材伐出機械に係る法改正について!」と題し労働災害への防止対策・注意点等講演していただきました。

また、株式会社ニッセイの佐々木社長より「夢と希望と誇りを持って!」と題して講演をしていただき、これまでの経験や日本青年館の生い立ちなど、とても思慮深いお話を聞くことができました。



株式会社ニッセイ 佐々木計三氏

大会宣言

安全管理の重要性及び労働災害防止を確認し、本大会の開催を契機に無事故・無災害の決意を新たに、災害防止対策を全力で取り組む事をここに宣言致します。
林産班 小沼大輔



退職者感謝状贈呈

小野 三四史
(仁賀保技能班)

優良運転者表彰

★無事故無違反

20年 佐藤 智信

(林産販売課)

15年 阿部 正輝

(造林課)

10年 古川 暢

(林産販売課)

遠藤 佳苗

(林産販売課)

高橋 敦

(加工課技能班)

今回より“地域情報”ということで順次、各支所だよりを広報に掲載することになりました。
組合員の皆さんお楽しみに！

東由利支所だより



8月5日(水)に行われた「東由利地区研修視察」には25名が参加し、森林組合西目製材所及び三共株式会社のソーラー施設を視察しました。西目製材所では現在の9,000 m³の原木を今後23,000 m³に増やす予定です。これに伴い所有者からの原木供給は一層不可欠になります。



～ウリヒラ現場での当組合支所作業風景です～ (作設)

昔も搬出路を作っていましたが、機械の規格も大きくなり作業路の幅員も少し広めになっています。後に皆伐まで何回も利用できます。(一生もの)

(切る)

枝払いから玉切りまで一括で作業できます。間伐の樹齢は11年～100年生までの森林から作業できます。

各種補助金を利用して、先祖からの山を手入れし有効利用と収益アップを図りましょう!!



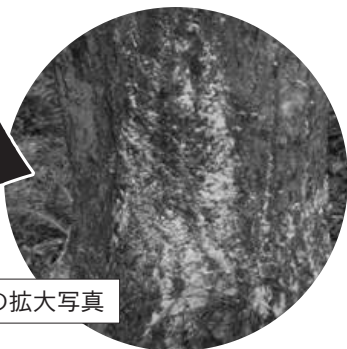
ただ今
間伐作業真っ最中



由利支所だより



ナラ枯れ被害の拡大写真



由利地区寺田山林内でナラ枯れ被害木発見。
被害が拡大しています。
立木の葉が赤くなくても
根本付近に粉がある場合、
ナラ枯れ被害が予想されます。
山林でナラ枯れ被害を見ましたら最寄りの各支所に速やかに連絡をお願いします。

【緊急報告】
ナラ枯れ被害拡大

前郷のパワースポット紹介

360年前飯沢太夫山にあった神社を前郷に移したのを祝って催された伝統的な祭りが、毎年9月の第一日曜日に行われます。

佐々木茂勝宮司他約300名の氏子の祭典です。

前郷地区の10丁内の輪番制で、今年は、馬喰町丁内(徳山洋一氏子総代)が当番です。神楽・獅子こ・御神輿を挟んで練り歩く姿は勇壮です。



前郷日枝神社・社殿
134年前に建てられました。



神楽殿
(市指定有形文化財)
161年前に建てられました。



森づくりのワンポイント

第2回

樹間距離と成立本数

★現在のスギ林分のおおよその成立本数を知るには、平均樹間距離を測ることによって、見当がつきます。

* 樹間距離：立っているスギとスギの間の距離のこと、平均樹間距離とは、その平均値

★測定方法

林分の中の1本のスギ立木を起点にして、隣接のスギ立木との距離を測りながら、ジグザグに進み、平均値（10本程度）を求めます。

これを、林分内の3箇所程度で繰り返し、全体の平均値を求めます。平均値の樹間距離によるha当りの成立本数は、表の通りです。

★平均樹間距離表

樹間距離 (m)	成立本数 (本/ha)
2.0	2,500
2.2	2,000
2.5	1,600
2.7	1,400
3.0	1,100
3.2	950
3.5	800
3.7	750
4.0	620
4.5	500
5.0	400



★間伐への応用

第104号でご紹介した胸高断面積計の測定方法により、胸高断面積を求めると、現林分の混み具合の見当がつきます。

〈for.1〉平均樹間距離を測ったら、2.7 mであった。また、標準地の胸高断面積計を算出したら60 m²あった。

胸高断面積計を45 m²にするには、どの程度間伐したらよいか。

・平均樹間距離から、現林分のha当り成立本数は、1,400本

・間伐する本数の目安は、 $1,400 : 60 = X : 45$ $X = 1,050$

$1,400 - 1,050 = 350$ 本（間伐の目安（本数率：25%程度））

★これらの方法を活用すると、めんどうな「密度管理図」を用いずとも、おおよその管理が可能ですので、是非ご活用ください。

（参考）

★また、少しむずかしくなりますが、逆に標準値などから、ha当りの本数がわかる場合は、平均の樹間距離を求めることができます。

〈for.2〉ha当りの本数が1,400本の場合の樹間距離は

$10,000 \text{ m}^2 \div 1,400 \text{ 本} = 7.1$ の平方根（ $\sqrt{7.1}$ ）が樹間距離 = 2.7 m

（前表と一致）

本荘由利森林組合林業研究会

第18回通常総会及び視察研修

7月29日・30日
林業研究会通常総会及び視察研修が行われました。

参加者10名は、大仙市の宝蔵寺の大けやき、佐々木氏所有山林、横手市の雄平原木市場、ウッディさんないを視察し、大仙市内のユメリアにて通常総会を開催しました。

会員への助成等、議案が決議されました。

懇親会では佐々木氏を交え、林業についての個々の考え等様々な意見交換が行われ、非常に有意義な研修となりました。



第21回 本荘由利森林組合造林コンクール開催要領

1. 趣 旨

この造林コンクールは、健全な活力ある優良林分を造成し、良質材生産を志向した保育作業の合理化と技術の向上を図り、由利地方民有林の森林整備事業の推進と実績を高めるため、本荘由利森林組合造林コンクールを開催し、合わせて所得向上に貢献することを目的とする。

2. 名 称 本荘由利森林組合造林コンクール

3. 主 催 本荘由利森林組合

4. 実施期間 申込：平成27年 9月1日～平成27年10月15日 審査：平成27年11月1日～平成27年11月29日

5. 実施方法

① 参加資格

本荘由利森林組合組合員とする。（旧由利地方森林組合長会及び本荘由利森林組合主催の造林コンクールで入賞した林分は同一部門での申込はできません。）

② 参加林分の基準

※平成26～27年度中に施業を実施した林分に限る。

A 人工林

- (イ) 樹 種……スギ
- (ロ) 面 積……0.10ha以上
- (ハ) 林 齢……植栽後 7年生以上

B 育成天然林

- (イ) 樹 種……広葉樹
- (ロ) 面 積……0.10ha以上
- (ハ) 林 齢……25年生以上

③ 参加部門

- 第1部 幼齢林の部……7年生～9年生
- 第2部 枝打ちの部……11年生～30年生
- 第3部 保育間伐の部……21年生以上
- 第4部 収穫間伐の部……21年生以上
- 第5部 育成天然林の部……25年生以上

④ 参加申込

各支所に備え付けの参加申込用紙に記入の上、各支所経由で申込むものとする。

⑤ 審査方法

審査委員長は、由利地域振興局農林部森づくり推進課長に依頼し、森づくり推進課員及び森林組合職員をもって審査するものとする。

⑥ 審査基準 別に定める。

木材市況情報 (平成27年)

単位：円、上段（石当り価格）
下段 m 当り 価格

			6月3日			7月3日			8月4日		
樹 種	材 長 m	径 級 cm	本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター		
			高 値	安 値	平均価格	高 値	安 値	平均価格	高 値	安 値	平均価格
ス ギ	3.65	14下				(1, 270) 4, 572	(1, 269) 4, 570	(1, 270) 4, 571			(1, 406) 5, 062
		16～22	(2, 777) 9, 998	(2, 700) 9, 720	(2, 751) 9, 904	(2, 300) 8, 279	(1, 975) 7, 110	(2, 062) 7, 422	(2, 402) 8, 646	(2, 058) 7, 407	(2, 292) 8, 250
		24～34	(3, 253) 11, 710	(3, 112) 11, 204	(3, 184) 11, 461	(3, 000) 10, 800	(2, 777) 9, 998	(2, 896) 10, 426	(3, 102) 11, 168	(2, 891) 10, 408	(2, 999) 10, 795
出材量・販売量・販売率			490㎡(1,764石)・201㎡(724石) 41%			568㎡(2,045石)・550㎡(1,980石) 97%			271㎡(976石)・271㎡(976石) 100%		

6月：新潟、山形県勢だけが応札し、40%の売れ行き。単価も弱含みで厳しい製品市況を反映している。
7月：林業公社委託材の出品が大半だったため、現在の市況低迷に加え、若齢材ということでさらに価格の下落に拍車がかかった。
8月：すべて山形、新潟の県外勢が落札。数量が少なかったこともあり完売となったが、全径級とも弱含み。

総務課よりお知らせ

●賦課金納入のお願い

納付期限が過ぎておりますが、未納の方は早めに納入をお願いします。納付は、組合本所・支所及び下記の管内金融機関へ納入下さいますようお願いいたします。なお、秋田しんせい農協では手数料がかかりません。

【取扱い金融機関】

秋田銀行管内各支所／北都銀行管内各支所／羽後信用金庫・各支店
山形銀行本荘支店／きらやか銀行本所支店／秋田しんせい農業協同組合各支店

●書類提出のお願い

相続、譲渡、氏名・住所変更等、ありましたらご連絡ください。
変更手続きに必要な書類等をお送りします。



林業大学校生視察訪問！

秋田県では、平成27年4月に秋田県林業トップランナー研修（秋田林業大学校）を開講し、林業技術者を養成する研修をスタートさせました。

その林業大学校の生徒が6月25日（木）当組合を視察に訪れました。

林業・林産業の理解を深めるため、各部門の業務について説明を受けたあと、製材所と流通センターの視察をしました。



10月18日

森林組合まつり

第10回

9月1日～3日

インターンシップ

今後の行事予定

広報担当者より

本年度より広報担当者として組合だよりを作成しています。

文章の書き方・構成・写真等様々な部分で初めてながら、この本荘由利森林組合の広報をより良いものにしていきたいと考えております。

皆様に組合の事業・行事等を伝えながら、楽しめる内容を目指して参ります。